

**製品名: C1s (6B8) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07734**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	77kDa

**抗原情報**

遺伝子名	C1S
別名	C1 esterase; C1S;
遺伝子 ID	716.0
SwissProt ID	P09871
免疫原	ヒト C1 の合成ペプチド

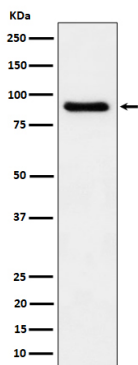
**背景**

C1s B鎖はセリンプロテアーゼであり、C1q および C1s と結合して補体系の古典経路の最初の構成要素である C1 を形成します。C1r は C1s を活性化し、その結果、C2 および C4 を活性化することができます。C1s B鎖はセリンプロテアーゼであり、C1q および C1r と結合して補体系の古典経路の最初の構成要素である C1 を形成します。C1r は C1s を活性化し、その結果、C2 および C4 を活性化することができます。

## 研究分野

免疫学; 自然免疫; 補体; 古典的経路

## 画像データ



ヒト形質細胞溶解物中の C1s 発現のウェスタン プロット分析。